

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくらう

山形県 戸沢村

とざわむら 議会だまり



2p 3月定例会 令和5年度一般会計予算 **40億8,000万円を可決**

3p **予算特別委員会** 一般会計 特別会計

4~5p 条例の改正 補正予算 人事案件 常任委員会 ほか

6~12p 一般質問 村政を問い正す! 6議員登壇

13p 戸沢村議会議員補欠選挙2名の新議員が決定! 議会日誌(1月~3月)

14p **ご卒業おめでとうございます** 編集後記・表紙の言葉

2023 No. **147**

2023年3月定例会

令和5年度一般会計予算

40億8,000万円を可決

令和5年
3月
定例会

(一般会計予算、前年度対比4.7%増)

令和5年第1回定例会初日3月15日に、委員に議員全員をもつて構成する予算特別委員会を設置のうえ審査することを決定し、3月17日に一般会計予算、20日に特別会計及び企業会計の予算を審査しました。

全会計、原案のとおり可決すべきものと委員会として決定し、定例会最終日の本会議において可決しました。

3月定例会は15日から22日までの8日間の会期で行われた。今年で7年目となる「舟下り議会」。コロナ禍以前にも増して多くの方々が戸沢村を訪れることを願い、本会議場では船頭さんの法被を着用して、観光PRを図った。

今定例会では、補正予算、令和5年度予算、条例、人事案件等、全議案を可決した。

一般質問には6議員が登壇し、少子化対策、給食費無償化、村長公約実現のための実効性ある施策、保健師の業務体制、消防団員の処遇改善、災害発生時の対応等々、多岐にわたる議論が交わされた。

会計名		予算額	前年度比	
各会計ごとの予算額	一般会計	4,080,000,000	4.7%	
	特別会計	国民健康保険	7,200,000	△43.8%
		後期高齢者医療	62,000,000	△4.8%
		介護保険	734,600,000	△0.7%
	企業会計	簡易水道事業	238,643,000	
		下水道事業	311,483,000	

企業会計とは？

水道事業が令和5年度より企業会計に移行します。経営状況が明確になり、その分析を通じて経営計画を策定できる利点があります。地方公営企業法の適用は主に会計方式の変更となりますので、使用者の皆さんに直接の影響はありません。

主な予算内容は、以下のとおりです。

- 旧古口小学校用地宅地造成測量設計・公園整備工事 7,200万円
- 中央公民館体育館外壁等改修工事関連予算 230万円
- 役場庁舎屋上防水工事関連予算 3,630万円
- ロータリ除雪車更新 5,500万円
- 子育て支援の充実として、出産祝い金を第1子以降10万円の交付（これまでは第1子3万円、第2子7万円、第3子以降10万円）

そのほか、高齢者対策事業、小売商業の振興、持家住宅整備の助成などの継続事業関連予算についても審議のうえ可決しました。

予算特別委員会



左：加藤政一委員長 右：小野宏副委員長

一般会計

Q 村債が増えた要因は。
A 西沢線橋梁工事等々
Q 投資的経費が増え、また、過疎対策事業債にソフト事業を充当したためです。
Q 新型コロナウイルスワクチン接種対策費用庫
A 令和5年度の対応は。
Q 令和5年度も継続予定です。
Q 県いきいき雪国山形

Q 推進交付金の事業内容は。
A 除排雪の経費などもあたります。除排雪の場所確保対策などに充当しています。
Q 農業次世代人材投資事業費補助金、新規就農者育成総合対策事業費補助金の内容は。
A 農業次世代人材投資事業費補助金は国の補助金で、経営を開始される方に1カ年150万円交付されます。新規就農者育成総合対策事業費補助

金は経営を継承される方、計画がある方を対象に交付される事業です。
Q 道路改良事業債、対象路線は。
A 西沢線、そのほかは側溝整備です。
Q AED設置場所の周知が必要では。使える時間帯も周知すべきでは。
A 周知を検討したい。公共施設には設置されているものと理解しています。
Q 移住支援事業費100万円とあるが、今年度の見込みはあるのか。
A 移住いただけるよう県と連携し取り組んでいきます。
Q ぼんぼ館プールを活用した健康推進事業は今後、継続されるのか。
A 山形県の補助事業の要件を満たさないことが分かりました。利用者から継続を望む声をいただいていますので、継続に向けて話を進めています。
Q 陸羽西線廃止を心配する声を聞いています。現時点での考えは。
A 12月に設置された協議会において、JR東日本から廃止はないと話が

ありました。利用者が増えるよう、県内35市町村、大崎市も含めイベントを検討中です。
Q 医師派遣事業負担金160万円計上されています。村独自で探してはいないのか。
A 多方面とコンタクトをとり、医師確保に努めたいと考えています。
Q 農業関係の補助と同様に、中小企業向けへの支援も考えてほしい。
A 農業は基幹産業です。商工業の振興も重要な課題です。ニーズを確認し公平な振興にあたりたい。
Q 最上川上流の改修が進んでいます。戸沢村内の堤防の高上げ等の対策を国、県に要望いただきたい。
A 最上川上流の改修が進んでいます。最上川下流域等の増水が心配されます。支障木の伐採等、国、県に働きかけたい。築堤の経年劣化等の問題についても担当課とも連携し要望を行います。
Q 農村環境改善センターには衛星電話がなく、災害時の通信手段が確保されていない。今後の対応は。

災害が起きた際は衛星電話の活用も視野に入れない対応していきたい。防災施設、備品の再点検を行い、必要な物品を整備したい。
Q 高齢者世帯負担軽減のため地区会費を免除等
A 対応は。
Q 介護認定審査会、年間の開催数と「まごころ荘」の待機者数は。
A 2月2日開催しています。2月8日の判定会議において58人の待機者がいます。うち村内の待機者は39人です。
Q 生活支援体制整備事業、福祉人材出向事業とは。
A 生活支援体制整備事業は高齢者生活支援、介護予防基盤整備推進を目的にしています。福祉人材出向事業は主任ケアマネージャーの件数です。いずれも社会福祉協議会へ委託しています。
Q 簡易水道事業会計予算
A 今後、給水件数が増

特別会計

している地区会が多い。収入減となっている地区会に対する行政委託料等を検討してほしい。
A 行政委託料は地区の規模に応じたものです。課長会議等で協議を図りたい。
Q 令和7年度に経営戦略の見直しを行います。企業会計の決算状況を確認しながら長期ビジョンを検討したい。
Q 特別会計から企業会計へと変わった。広域化の考えは。
A 山形県の広域水道計画については総務省の指示により検討が進められています。現在は現行のままとなります。今後、統合が進むと思います。
Q 企業債が約9億円。長年の借入金総額かと思えます。今年度2億円ほどあると思うが内容は。
A 固定負債で流動負債を含んでいます。

令和5年
3月
定例会

条例改正(設定)、補正予算、 契約変更、人事案件等全議案可決

一般会計補正予算(第10号)

補正額500万円を可決しました。歳入、歳出の合計はそれぞれ、47億4千万円になります。

地方債が確定したことによる財源充当や、山形県からの教育費関連の補助金額が確定したことによる補正です。また、電気料高騰によりぼんぼ館施設管理運営事業費500万円、春先の除排雪経費500万円も今定例会で可決されました。

条例制定等

○戸沢村個人情報保護法施行条例

個人情報の安全管理措置の実施、個人情報漏えい等の事案が発生した場合の対応などが条例で定められました。令和5年4月1日からの施行です。

○戸沢村情報公開・個人情報保護審査会条例

戸沢村情報公開条例、個人

情報の保護に関する法律、戸沢村議会の個人情報の保護に関する条例の規定により、戸沢村情報公開・個人情報保護審査会が置かれます。審査会は調査審議を行うほか、村長、議会に意見を述べることできます。

○戸沢村特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

情報公開・個人情報保護審査会委員の報酬額が追加されます。また、戸沢村消防団の報酬が改定されます。

(団員)副分団長。分団長以上の報酬改定はありません。

○戸沢村企業版ふるさと納税基金条例

新たな基金が設置されます。地域再生法に基づく法人からの寄付金は、寄付者の意向に沿った事業に活用されます。

○戸沢村立児童厚生施設設置条例の一部を改正する条例

児童の遊び場となっており、遊具等が撤去されたことに伴い、津谷児童遊園を設置条例から除くことになりました。

た。改正後の村内児童遊園数は8カ所になります。

○戸沢村印鑑条例の一部を改正する条例

個人番号カードを使用し、コンビニエンスストアに設置されている多機能端末機から印鑑登録証明書の交付を受けられることができるよう改正されました。

○戸沢村デマンドタクシーの運行に関する条例の一部を改正する条例

実証運行していた戸沢村(新庄市、庄内町区間)が公共交通会議にて運行すべきとの結論に至りました。運輸局に手続き中で、本格運行にあわせ条例整備が必要ため改正されました。また、障害者に利用券が交付され、利用券での乗車も可能になります。

指定管理者の指定について

・施設名 戸沢村モモカミの里
・指定管理者 最上峡芭蕉ライン観光株式会社

代表取締役 鈴木 富士雄
・指定期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日

契約変更について

社会情勢による部品調達遅れにより、公用車の納入期限の変更が議会に諮られました。公用車の納入期限は3月28日から9月29日に変更されました。

権利の放棄について

①戸沢村から最上広域市町村圏事務組合に出資していた8171万8千円のうち6356万円を放棄することが可決されました。放棄された6356万円は新消防庁舎建設関連事業の財源に充てられます。

②未納となっていた水道料金に係る債権の放棄が、可決されました。債務者が亡くなり、相続放棄されたことが権利の放棄の理由です。

常任委員会報告

総務文教・産業建設 常任委員会合同視察

戸沢村草薙地区川の駅にオープンした「アールモガミ」を3月20日に視察しました。新たな宿泊スタイル、セミセルフサービスをコンセプトとした、持ち込み自由、施設内設備を自由に利用できる宿泊施設で、村内外からの誘客が見込まれます。戸沢村に滞在型の観光



資源が加わることになりました。交流人口増加のため、戸沢村観光物産協会とともに戸沢村議会として取り組んでまいります。

総務文教常任委員会
委員長 伊藤 一

産業建設常任委員会

3月20日に常任委員会を開催し、豪雪での倒木問題を協議しました。地区会、執行部との迅速な情報共有を行うことを確認しました。また、豚舎の臭気問題についても村民が理解できるまで継続して取り組むことを確認しました。村民の安全安心確保を議題として取り組んでいきます。

産業建設常任委員会
委員長 柿崎 英矢



発議案件

戸沢村議会の個人情報保護に関する条例

個人情報の保護に関する法律等の改正に伴い、条例を設定しました。対象となる個人情報は議会の事務局の職員が職務上作成し、議会が保有しているものです。事務局職員が関わらず、議員が職務上作成し、取得した個人情報には含まれません。

一般会計補正予算を可決

6,000万円を計上し総額47億8,400万円に

出産・子育て応援ギフト補助金、ふるさと納税事業費、戸沢村議会議員選挙費、経営体育成基盤整備事業負担金等の予算を可決しました。

令和5年
第1回
臨時会

1月17日開催

令和4年度各会計補正予算を可決

欠員となっていた総務文教常任委員会に荒川和明議員が、産業建設常任委員会に安食勇議員が加わりました。また各会計の補正予算を可決しました。年度末に向けた各事業の精査、地方債限度額の変更によるものです。

令和5年
第2回
臨時会

2月20日開催



村政を問い、正す!

6名の議員が一般質問

※一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

I 阿部 光樹議員	7P
● 少子化対策について	
● 南部地区振興センターについて	
II 富樫 義人議員	8P
▲ 給食費無償化、その目的と財源確保策は	
▲ 特別職の報酬改定の考えは	
▲ 村長の考える人口減少対策とは	
III 柿崎 英矢議員	9P
■ 公約実現のための実効性のある施策は	
■ 子ども達のマスク着用、今後の対応は	
IV 加藤 政一議員	10P
★ 保健師1名体制で業務はやり切れるのか	
★ 子育て応援住宅の継続と、周辺の施設整備は	
★ 担い手の確保と新規就農者への支援は	
V 伊藤 一 議員	11P
▼ 消防団員の処遇改善について	
▼ 交流人口拡大策は	
▼ ぽんぼ館周辺整備の考えは	
▼ 医療体制維持、改善にどう取り組むのか	
VI 安食 勇 議員	12P
◆ 雪害発生時の村の対応は	
◆ アフターコロナの観光振興対策は	
◆ 物価高騰の村の支援策は	
◆ 公共交通機関の在り方について	

一般質問



阿部光樹 議員



子育て応援住宅



少子化対策について

問 戸沢村にはどのような対策があるのか。

入学祝金などがあります。

村長 子育てしやすい環境整備として「子育て応援住宅」の建設と分譲宅地の造成工事、支援事業としては保育料等の軽減や出産祝金、

問 少子化対策について専門に検討する会議、担当課など必要と思うが考えは。

村長 「未来創造プロジェクト会議」や「魅力あると

ざわ創生推進本部」で検討したいと思います。

新たな課の設置は考えていませんが、各担当課との連携を密にしながら検討していきます。

問 令和5年度の予算で第一子、二子、三子一律10万円の祝金と考えているようですが、それでは魅力が少なくないと思います。令和元年20名、2年14名、3年15名などの出生数を考えれば予算の充実を図るべきと思うが。

村長 逆の発想でまず第一子に対して支援が大事かと思えます。

問 戸沢学園敷地内に新設のプール建設が検討されていますが、少子化問題に直面している今、他での対応も検討すべきと思うが考えは。

村長 事業のあり方も含めて検討します。

南部地区振興センターについて

問 本来、企業への貸与による雇用促進だけでなく、生涯学習、農産加工品開発、集会所や避難所など複合的な利用による南部地区の拠点施設だと聞いていますが現状は。

村長 多目的な活用をするため、不特定多数の方が出入りできる施設として、建築基準法に基づく施設整備が必要と指導を受けました。費用対効果を考えると、

具体的な事業展開の要望があれば検討します。

問 以前は災害時に利用できるように発電機の予算が組まれていたが、なぜなくなったのか。

危機管理室長 使用用途変更の設計途中で不特定多数の方が出入りできる施設にするには整備が必要と分かり、施設利用等の方針が定まらないままの設置はできないと考え、実施設計は行っていないです。方針が決まれば検討していきます。



南部地区振興センター

一般質問



富樫義人 議員

給食費無償化、その目的と財源確保策は

問 村長の選挙公約の中で、給食費無償化を図るとありますが、その経緯と財源確保について伺います。

村長 給食費は初等部一食300円、中等部一食340円で給食を提供する日数で計算されます。無償化になると年額約6万円の負担がなくなり、子育て支援の面で保護者の経済的負担が軽減されます。

また、無償化することで、移住する際に戸沢村を選んでいた条件になるのではないかと思えます。

問 年間6万円の負担がなくなるとありましたが、戸沢学園は9学年あり、現在の児童生徒数221人で計

ランチルームでの給食



子育て応援住宅

村長 現在15戸中10戸が入居済みとなっています。令和5年度中に整備区域内未実施分の盛土工事とアスレチック型の大型遊具1基、単体遊具2基を計画しています。令和6年度には区域内のインフラ整備として、道路改良工事、水道下水道工事を行う計画としています。また、並行して分譲宅地の募集方法や民間による集合住宅の誘致の検討も行っています。

算すると年額1326万円必要となるが、どのように財源を確保するのか。

村長 3月2日に就任し4年間の任期があります。今の段階で時期を明言することはできません。なるべく早い時期に、議会に提案したいと考えています。

特別職の報酬改定の考えは

問 戸沢村の人口は4000人台から3000人台になろうとしています。他の町村では首長をはじめ三役の報酬を引き下げている自治体も見受けられますが、村長はどのようにお考えか。

村長 現行の報酬額が基本となると考えます。変動制とした場合、人口数に応じたものにするのか等、その基準は明示されていません。財政状況は理解していません。報酬額の変更を必要と判断する機会があれば、議会に対し提案する機会があるか

もしもありません。

村長の考える人口減少対策とは

問 県内で3番目に人口減少が進んでいるという2020年度統計調査結果をどのように捉え、今後の村づくりを考えていくのか。

村長 人口減少が進んでいることが顕著となり、2月

末現在の人口は4061人となっています。このような状況をしっかりと受け止め、定住促進団地整備を着実に進めるとともに、子育てしやすい環境整備の構築、子育て世帯支援事業を継続的に、人口減少対策をしっかりと進めたい。

問 人口減少対策として子育て応援住宅の充実を図っていくとあるが、これまでの進捗状況と今後の進め方は。

公約実現のための 実効性のある施策は

問 子育て応援住宅の更なる継続と、子ども達がのびのび遊べる施設整備と掲げているが村長の考えは。

村長 住宅、公園、分譲地の整備、並行して分譲地の募集方法や民間による集合住宅の誘致等の検討を行っていききたい。

問 戸沢村内には住宅建設に関わる職人が70名以上います。その多くが村内での受注が少ない状況下にあります。今後、村が発注する事業はハウスメーカーだけ

ではなく地元の人材も活用していただきたい。

村長 戸沢村未来創造プロジェクト会議の中でも、検討したいと考えています。

問 現在、子育て応援住宅に入居する世帯には家賃の軽減を図っています。村内全ての子ども達に月額5000円の助成を考えるとどうか。他市町村からの移住も期待できるのでは。

村長 詳しく精査しながら考えていききたいと思えます。

問 古口地区内子育て応援住宅隣地に公園整備を予定しているが、戸沢地区、角川地区の公園、遊具施設は多いとはいえない。全ての地区の保護者の考えを聞き取りしていただきたい。

健康保険課長 学園や保育所の保護者の意見を聞いて、要望があれば補助金の活用を検討のうえ取り入れたい。

村長 地域の意見を聞きながら考えたいと思えます。

問 戸沢村の財政状況については、人口割での借金が他町村と比較し多い。返済指数は下位にあります。健全化に向けた取り組みは。

村長 胸を張って健全といえる財政ではないと認識しています。まずは優先事業の選択と、国の補助金の活用、有利な起債の活用等に努めます。

問 国、県の補助金活用以外に、企業誘致を進めるなどして税収をあげるべきで

は。

村長 村内の財源確保も考えていきます。

子ども達の マスク着用 今後の対応は

問 個人の判断に委ねると政府が示しています。学園では今後どのように対応するのか。

教育長 文部科学省の判断に沿って対応します。

問 マスク着用、不着用でいじめがおきないように考慮

していただき、また、保護者との話し合いもお願いしたい。

教育長 今後は子ども達と話し合いながら対応を考えていきます。

問 マスク着用についての相談はありませんか。

教育長 着用の難しい児童生徒がいるかもしれませんがお互いに認め合い、中傷やいじめがおきないように指導し、今後とも、児童生徒の健全な成長を見守りながら丁寧な対応を継続してまいります。

一般質問



柿崎英矢 議員



令和5年3月13日(月)からマスクの着用は個人の判断が基本になります。花粉症など、マスクが必要な人もいます。着けている人も、着けていない人も、仲良く、お互いを尊重しましょう。

一般質問



加藤政一 議員

保健師1名体制で、業務をやり切れるのか

問 保健師1名の現行体制で、多岐にわたる保健師の日常業務をやり切れるのか。

村長 保健師の役割は非常に重要で、広範囲にわたり業務を行っています。毎年



の募集に応募がなく、追加募集しても、応募者がいない状況です。優先順位の高い事業を選択して、進めていかざるを得ないこともご理解いただきたいと思います。募集は継続していく予定です。



問 応募者のいない原因は何か。

健康福祉課長 新型コロナ感染症対策で保険所における保健師の需要が多く、町村まで、応募者が廻らない状況です。

副町長 村のホームページにも掲載し、他県も含め広く周年募集をしています。

問 応募者がいなければ、退職された方の再雇用を当面の間考えてもよいのでは、村長の考えは。

村長 保健師3名で、多岐にわたる業務をこなしている状況も理解できました。働く環境整備も併せて、担当課、執行部で検討していきます。

子育て応援住宅の継続と周辺の施設整備は

問 子育て応援住宅敷地内駐車場の除雪対策について、住宅持ち主と協議をしていますか。



子育て応援住宅周辺

るのか。

まちづくり課長 敷地内のロードヒーティングが、うまく機能しなかったため4回ほど排雪を実施しました。今シーズンに向け、村と持ち主と施行業者の三者で協議を進めていきます。

問 子ども達の遊び場の施設整備は、遊具を含め、児童遊園地のあり方を精査し、村全体の施設整備計画を示した上で進めるべきではないか。

村長 地区管理の児童遊園地、子育て応援住宅周辺の公園整備も含めて、プロジェクト会議で議論を深めて検討していきます。

担い手の確保と新規就農者への支援は

問 農業の担い手確保と新規就農者への支援強化をどのように進めて行くのか。

村長 「水田活用、畑作物直接支払交付金制度」の確実な事業実施、有機農業の推進、山形戸沢ファーム無償提供の完熟豚糞堆肥を活用推進していきます。

国の農業次世代人材投資事業の申請の支援を行い、適用を受けた新規就農者に村単独で「新規就農者支援交付金」（その年度に50万円）を給付します。

農地荒廃化防止にむけ、各地域の日常的に保全活動を行う組織に支援を行い、農村環境の良好な保全と質的向上を図っていきます。

一般質問



伊藤 一 議員

消防団員の 処遇改善について

問 消防団員の出勤手当の改善予定は。

村長 消防庁より、報酬を改めたうえで額も見直すよう通知されています。

年間報酬額の引き上げについては、今後改めて階級ごとの年間報酬額及び出勤に関する額の見直しを提案します。

交流人口拡大策は

問 村の交流人口拡大に向けた施策をどのように考えているのか。

ポンプ性能試験



村長 通過型の観光ではなく、地域の愛着「ひと」への愛着を感じとる体験を通じて、戸沢村への関心を引きたいと考えています。そのためにも村のファンを作り

関係人口獲得へとつながるようなコンテンツを検討していきます。

観光業だけでなく地域住民一人ひとりが村の文化や魅力、その価値を再確認し、文化や地域を誇りに思い地域をより良い場所にするための体制づくりにも取り組んでいきます。

ぼんぼ館周辺 整備の考えは

問 ぼんぼ館周辺の整備計画の考えは。オートキャンプ場、バーベキューハウス、遊具などの設置計画は。

村長 周辺の計画図的なものを作成しているところであります。「未来創造プロジェクト会議」において協議、検討を行ってまいります。令和4年度は一回だけの開催と



ぼんぼ館

なりました。今後は開催数を増やし、計画を検討します。

医療体制維持、改善に どう取り組むのか

問 医師二人体制の現状と今後の改善策は。

村長 毎週火曜日午前中のみ県立新庄病院より医師1名を派遣いただいております。医師2人体制で医療機会を減少させることなく運営しています。今後も渡邊先生

にご協力いただき、現状の体制を維持し、週1回、県立新庄病院より医師を派遣していただくことで内諾を得ております。

問 近隣町村との連携についての考えは。

村長 近隣町村との連携は必要と考えております。新型コロナウイルスワクチン接種において、新庄市最上郡医師会との連携により派遣していただいた経過がありますので引き続き連携する体制づくりをとっていきたいと考えています。



戸沢村中央診療所

一般質問



安食 勇 議員

雪害発生時の村の対応は

問 昨年12月発生した雪害の村としての対応は。

を発見次第、東北電力に情報提供を行っていきます。

村長 警察消防と緊急車両の通行の情報共有を行うとともに、水道施設の非常用発電燃料の補給、停電になった地区の地区会長宅に職員を派遣し、地区民の安否確認を行いました。

問 停電の原因となった倒木について、村としての対応は。

村長 倒木については土地所有者のものであり、関与はできないため、問題箇所



倒木による道路封鎖

問 倒木は景観を損なうばかりでなく防災の観点からも対策を講じる必要があります。

停電による通信障害時の緊急連絡体制は。

村長 地区会長連合会を通じて情報収集・情報提供を図っていきます。

アフターコロナの観光振興対策は

問 観光振興策として、高麗館遊歩道周辺の植栽やぼんぼ館周辺でのバーベキューなどの施設整備も一案と考えます。一方でソフト面からの取り組みも必要です。アフターコロナにおける今後の観光産業の展望についての考えは。

村長 通過型の観光ではなく、体験型により戸沢村へ愛着を持っていただくよう検討していきます。

問 戸沢村の関係人口拡大に向けた取り組み状況は。

村長 地域おこし協力隊の方が村の魅力を発信し、関係人口の創出を目指しています。

問 移住サイト・空き家バンクの立ち上げによる効果は。

村長 サイトの閲覧者は空き家情報、企業紹介の順に閲覧の人气が高い。教育・生活情報を掲載し、移住体験メニューを検討しながら移住獲得に向けた施策に取り組めます。空き家バンクについては、登録が18軒、内8件が見学を行いました。

物価高騰の村の支援策は

問 物価高騰等に対する生活支援策と今後の取り組みは。

村長 食料確保が困難な場合、最上地区全体として生活自立支援センターが取り組む「フードバンク事業」を活用していきます。

自宅前での乗降できないか

問 今後、交通弱者の方が増えることが予想されます。公共交通機関の在り方を検討すべき時期を迎えています。自宅前で乗降できる交通体制を整備できないか。

村長 現行のデマンドバスでは、路線より外れることができないので、対応は困難と考えています。



戸沢村乗合デマンドタクシー

新たに2名の議員が決まりました

2月14日に告示された戸沢村議会議員補欠選挙の結果、荒川和明氏、安食勇氏が当選されました。任期は2月19日から令和5年8月31日までです。



荒川 和明 議員

戸沢村議会議員の荒川和明と申します。村民の皆様が安心して、生きがいを持って暮らせませう議員として頑張っていく決意です。まだまだ微力ではありますが、これから少しずつ戸沢村の発展に貢献したいと思います。



安食 勇 議員

戸沢村議会議員となりました安食勇と申します。共存共栄の思いを胸に、共に助け合い共に繁栄する村づくりを住民の皆様は勿論、議員、職員各位と建設的な関係を築き、よりよい村政づくりを全力で頑張ります。

何よりも住民の皆様の見を尊重して参ります。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

議会日誌 (1月~3月)

1月

- 5日 戸沢村建設職工組合新年会
- 7日 新庄青年会議所新年賀詞交換会
- 17日 議員全員協議会
第1回臨時議会
議会広報常任委員会
- 25日 例月出納検査
- 25~26日 中井町長との懇談会
- 27日 最上県勢懇話会例会

2月

- 13日 戸沢村農業再生協議会臨時総会
第74回山形県町村議会議長会定期総会
- 15日 山形県町村監査委員第26回定期総会・研修会
- 20日 議員全員協議会
第2回臨時議会
- 21日 最上地方町村議会議長会2月定期総会
最上市町村議会議長会2月定期総会
令和4年度最上市町村議会議長・副議長合同会議
- 22日 例月出納検査

- 最上広域市町村圏事務組協議員懇談会
- 〃 全員協議会事務局
- 〃 議会運営委員会
- 27日 最上地区広域連合 議会運営委員会・議員全員協議会

3月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 2023蔵岡紙風船まつり
- 8日 議員全員協議会
令和5年度当初予算内示会
- 15日 定例会 (本会議)
- 16日 戸沢村立戸沢学園卒業証書授与式
最上広域市町村圏事務組議運
- 17日 予算特別委員会
- 20日 予算特別委員会
各常任委員会
- 22日 定例会 (本会議)
議会広報常任委員会
- 23日 最上広域市町村圏事務組3月定例会
- 24日 最上地区広域連合定例会
例月出納検査
- 29日 財政援助団体監査

ご卒業おめでとうございます。



戸沢学園第2回卒業式が、令和5年3月16日に行われ、9年生24名が学園から巣立っていきました。新たな進路に向かって、元気に羽ばたけ。

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

6月9日(金)～12日(月)

本議会は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局 ☎72-2113にお問い合わせください。



ご卒園おめでとうございます。

表紙の言葉

春の訪れを告げる桜花咲き誇る、4月8日に24名の新入生を迎え、戸沢学園の入学式が行われました。学園生活9年間で、多くの事を学び、思いやりの心を育み、一人ひとりを尊重し、たくましく成長してほしいと願っています。

編集後記

4月中旬には桜が開花し、まもなく田植えの時期を迎えます。春になり雪が消え、傷んだ農地や道路が目立つようになりました。直していただけるよう、現状を伝え要望ください。私たち議会も問題、課題解消に向け日々活動を続けます。

議会広報常任委員会

副委員長 阿部 光樹